

式 辞

色鮮やかな花々に包まれ、春の香りが満ちあふれる、良い季節となりました。本日は神室謙一県会議員様を始め、御来賓の方々にお越しいただき、令和6年度入学式を挙げていただきますことに、心から感謝申し上げます。

149名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、いろいろな不安や期待を持って今日を迎えたことだと思います。

邑久中学校では、自分で考え、決めて実行する力、自他共に受け入れる力を将来自立した社会人となるための力として指導に取り組んでいます。そこで、皆さんが、素晴らしい邑久中学校の生徒となるために今年、オリックスからドジャースに移籍をした山本由伸選手の話をお願いします。

山本選手は、今の活躍をするに当たり、三つの決断をしています。

一つめは、「岡山から宮崎県の高校へ」野球留学を決断します。そこで、内野手からピッチャーへの第一歩を踏み出します。そこには、自分の才能を引き出してくれた感徳雄の出会いがありました。

二つめの決断は、プロ野球への入団の決断です。山本選手は、自分よりたくさん優れた選手がいるプロではなく、就職をすることを考えていたそうです。ここでも、山本選手の力を引き出してくれたスカウトの人との出会いがありました。後で、山本選手はこう言っています。「自分は、出会いに対する運が良かった。」しかし、私は、運だけではないと思います。山本選手自身が出会いや人を大切にしていたからこのような素晴らしい出会いに巡り会えたのだと思います。中学校に入学して、みなさんもたくさんのお出会いがあるはずですが、一つ一つの出会いを大切に、その出会いの中から自分の運をつかんでほしいと思います。

三つめの決断は、進化の決断です。山本選手は、どんなに成績が良かったシーズンの後でも毎年フォームの改善に力を入れています。現状に満足するのではなく、常に自分の進化を意識し、努力を続けています。みなさんも、常に努力を続け、どんな小さな一歩でもいいから進化を続ける人であってほしいと思います。

山本選手は、この三つの決断に加え、「すべてに感謝」という言葉を大切にしています。出会った人に対して、自分の周りの人に対して、自分に忠告や指導してくれた人に対して、すべての人や出来事に感謝することを忘れていません。

更に、高校時代の監督は、山本選手に「すべての人に応援される選手になりなさい。」と語っています。

中学校入学したみなさんも、ここに居る在校生のみなさんも山本選手のように、

出会いを大切にすること

努力を続け、進化し続ける人になること

周りの人に感謝できる気持ちを持った人

になれるような学校生活をしてほしいと思います。そして、「すべての人に応援される人」になるためには、自分たちは何をすべきなのか、何ができるのかを考えて、行動できる人になってほしいと思います。

そして、一年生149名を含めた466名の邑久中学校全校生徒の心を合わせ素晴らしい邑久中学校を作っていきます。

さて保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学生の時期は、心身ともに大きく成長し、自我が芽生え、親離れをし、子供から大人に向けてのステップアップをする時期です。そのなかで子供たちは、様々なことを自分たちの力で解決したり、挑戦する力をつけていくこととなります。こういった中学生生活を支えていくためには、保護者の皆様と地域、学校との連携が大切になってきます。どうか、学校に任せることは任せ、しっかりとお子様や学校を見守っていただくとありがたいと思います。

私達は指導すべきことは指導し、任せるところは任せ、生徒が独り立ちする力を高めたいと考えています。これから三年間、宜しく願いいたします。

最後になりましたが、来賓の皆様方を始め地域の皆様方、邑久の子供たちのために、学校一体となって頑張ってもらいます。今年度も子供たちへの温かい声掛け、学校へのご支援とご協力を、どうぞ宜しくお願いします。

令和6年4月10日

瀬戸内市立邑久中学校長

松田 典久